

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-153	20-006	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
<p>Do stress, life satisfaction, depression and alcohol use predict quitting among Aboriginal and Torres Strait Islander smokers?</p> <p>ストレス、生活満足度、うつ病、アルコール摂取は、アボリジニ・トレス海峡諸島民喫煙者の禁煙を予測するか</p>		
執筆者		
Thomas DP, Davey M, van der Sterren AE, Panaretto KS, Lyons L.		
掲載誌		
Aust N Z J Public Health. 2020 Jun;44(3):186-192. doi: 10.1111/1753-6405.12993.		
キーワード		PMID
ストレス、うつ、生活満足度、飲酒、禁煙		32459387
要 旨		
<p>目的： ストレス、生活満足度、抑うつ、飲酒が、アボリジニとトレス海峡諸島民喫煙者の禁煙実施および禁煙持続を予測するか調べた。</p> <p>方法： アボリジニおよびトレス海峡諸島民を代表する割り付けコホート、Talking About The Smokes の参加者で、ベースライン調査（2012年4月～2013年10月）にて週1度以上の喫煙を報告した1,549人、およびそのうち約1年の追跡調査（2013年8月～2014年8月）を完了した759人を対象とした。ベースライン時にストレス、生活満足度、抑うつ、飲酒について、フォローアップ時に禁煙実施および1ヶ月以上の禁煙持続について調査員が質問し、ロジスティック回帰分析によりこれらの関連を検討した。</p> <p>結果： 追跡調査までの禁煙実施と有意に関連した項目は、人生の満足度が低い（オッズ比[OR]: 1.69, 95%信頼区間[CI]: 1.08-2.66）、抑うつ傾向（OR: 1.59, 95%CI: 1.12-2.26）、高ストレス（ストレススコア1上昇につき OR: 1.30, 95%CI 1.06-1.60）、短時間多量飲酒(2時間に5[男性]または4ドリンク[女性]以上飲酒)の頻度が週一回以上（OR: 0.72, 95%CI: 0.53-0.98）であった。このうち、1ヶ月以上の禁煙持続と有意に関連したのは高ストレス（ストレススコア1上昇につき OR: 1.40, 95%CI: 1.08-1.80）のみであった。</p> <p>結論： アボリジニおよびトレス海峡諸島民喫煙者にとって、ストレスは禁煙の大きな障害とは言えない。保健スタッフは、禁煙の成功によって得られるメンタルヘルス上の利点を強調し、ストレスや抑うつは禁煙を始めるきっかけと捉えると良い。</p>		